

2020年6月1日

報道関係各位

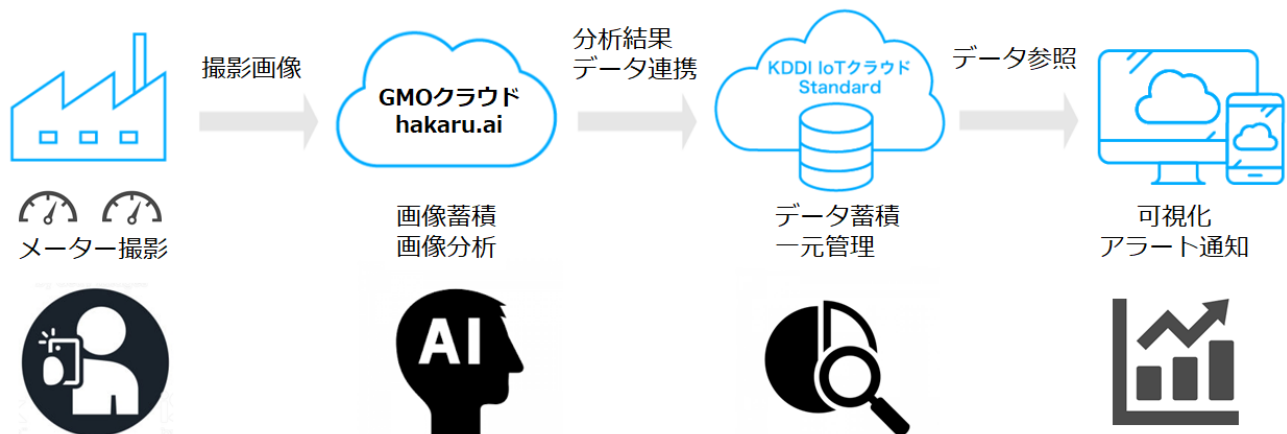
GMOクラウド株式会社

メーター点検業務を AI で効率化する「haku^ハru^カ.ai byGMO」が 「KDDI IoT クラウド Standard」の「検針^{エー}オプション」として正式採用

GMO インターネットグループの GMO クラウド株式会社（代表取締役社長：青山 満 以下、GMO クラウド）が提供するメーター点検業務を AI で効率化するサービス「haku^ハru^カ.ai byGMO（以下、haku^ハru^カ.ai）」はこの度、独自の画像認識技術が評価され、KDDI 株式会社（代表取締役社長：高橋 誠 以下、KDDI）が提供する「KDDI IoT クラウド Standard」の新たなメニューとなる「検針^{エー}オプション」に採用されました。

「KDDI IoT クラウド Standard」は、データの見える化・アラート通知・データ蓄積など IoT/M2M に必要な機能を標準装備した KDDI が提供するクラウドサービスです。

「KDDI IoT クラウド Standard」では、「haku^ハru^カ.ai」の AI による画像認識技術を活かし、メーターを撮影することでその値を読み取り、ビルや製造・設備の現場におけるメーター点検・検針業務の効率化を実現するオプション機能「KDDI IoT クラウド Standard 検針^{エー}オプション（以下、「検針^{エー}オプション）」）を本日 2020 年 6 月 1 日（月）より提供開始しました。



<「KDDI IoT クラウド Standard 検針^{エー}オプション」概念図・利用イメージ>

【「haku^ハru^カ.ai」採用の背景】

製造業やビルメンテナンス業界などにおいては、複数のアナログメーターの定期的な点検・検針のために、人が目視でメーターを読み取り、点検簿に記入したデータを手入力して管理していることが多く、作業時間や誤検針の発生などの課題があります。

こうした中 KDDI は、イベント会場・遠隔地の設備管理におけるお客様のコスト削減・業務効率化を支援するため、2,000 種類以上のセンサーや監視カメラに対応し、データの見える化・アラート通知・データ蓄積などを可能にする IoT/M2M に必要な機能を標準装備したクラウドサービス「KDDI IoT クラウド Standard」を提供しています。

一方、GMO クラウドの「haku^ハru^カ.ai」は、工場やビルなどにある既存のメーターと、個別に発行した QR コードと一緒にスマートフォンで撮影するだけで、画像解析 AI がメーターの値を読み取り、クラウド上にある台帳への記入が自動でできるサービスです。

この度 GMO クラウドの「hakarui.ai」が持つ、人による目視確認と同レベルの正確性でメーターの値を読み取れるという画像解析機能が評価され、KDDI の提供する「KDDI IoT クラウド Standard」のオプションサービス「検針オプション」として正式に採用されることとなりました。

■ご参考：「検針オプション」について

KDDI の提供する「KDDI IoT クラウド Standard」のオプションサービス「検針オプション」は、スマートフォンに専用アプリをダウンロードし初期設定を行うことで、メーターを撮影するだけで、リアルタイムに正確な検針データを自動でクラウド上に蓄積・管理が可能となるサービスです。これによりメーターのほか、温湿度センサーなどさまざまなセンサーも「KDDI IoT クラウド Standard」上で一元管理が可能のため、データ管理業務の効率化にもつながります。

【「hakarui.ai byGMO」について】

(<https://iot.gmocloud.com/hakarui-ai/>)



「hakarui.ai」は、工場やビルなどにある既存のメーターと、個別に発行した QR コードと一緒にスマートフォンで撮影するだけで、AI がメーターの値を読み取り、台帳記入が自動でできるサービスです。

工場などの稼働・管理に欠かせない点検業務においては、メーターを目視で読み取り・手書きで紙台帳に記録し、数値を Excel などの台帳に転記して管理する方法が一般的ですが、「hakarui.ai」では、メーターを撮影するだけで、こうした煩雑な業務をすべて自動で行います。スマートメーターへの付け替えがさまざまな理由で困難な状況において、大きな設備投資や工場の一時停止をせずに導入することができる、画像解析 AI を実装したサービスです。

【「KDDI IoT クラウド Standard」について】

(<https://biz.kddi.com/service/iot/iot-cloud-standard/>)

「KDDI IoT クラウド Standard」は、データの見える化・アラート通知・データ蓄積など IoT/M2M に必要な機能を標準装備したクラウドサービスです。

現地に設置したセンサーや、監視カメラに対応することでさまざまな用途に活用できます。また、専用画面のカスタマイズや帳票形式での出力にも対応しており、お客さまの業務効率化やコスト削減・売り上げ増を支援します。センサー・ゲートウェイ機器をセットにした「かんたんパッケージ」もご用意しており、届いたその日からご利用いただけます。

【「GMO クラウド株式会社」とは】

ホスティング事業として 1996 年にサービスを開始して以来、国内およそ 6500 社の販売代理店を有し、11 万を超える法人のお客様のサーバー運用実績を持ちます。現在はクラウド事業を主軸に、国内・海外の企業に向けて最適な IT インフラを提供しています。また、2017 年からは AI/IoT 事業にも注力しており、自動車向け IoT ソリューションの開発や、画像解析 AI を使ったサービスを提供し、現場課題のより良い解決に向けて尽力しています。さらに、連結会社の GMO グローバルサイン株式会社を中心となり展開する

「GlobalSign」の電子認証サービスは、SSLの国内シェアが4年連続でNo.1^(※1)で、欧米やアジア地域、中東地域など世界10カ国・地域の拠点を通じて世界に広がっています。

(※1) Netcraft社の「SSL Survey」より(2019年3月時点)

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMOクラウド株式会社 社長室 広報担当 遠藤・松下
TEL : 03-6415-6100 FAX : 03-6415-6101
E-mail : pr@gmocloud.com
- GMOインターネット株式会社
グループコミュニケーション部
広報担当 石井・高橋
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMOクラウド株式会社 hakaru.ai サービスデスク
TEL : 0800-1234-250
お問い合わせフォーム :
<https://form.gmocloud.com/iot/hakaru-ai/contact/>

【GMOクラウド株式会社】 (URL : <https://ir.gmocloud.com/>)

| | |
|------|-------------------------------------|
| 会社名 | GMOクラウド株式会社 (東証第一部 証券コード : 3788) |
| 所在地 | 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー |
| 代表者 | 代表取締役社長 青山 満 |
| 事業内容 | ■クラウド・ホスティング事業 ■セキュリティ事業 ■ソリューション事業 |
| 資本金 | 9 億 1,690 万円 |

【GMOインターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

| | |
|------|--|
| 会社名 | GMOインターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449) |
| 所在地 | 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー |
| 代表者 | 代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿 |
| 事業内容 | ■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業 |
| 資本金 | 50 億円 |

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

Copyright (C) 2020 GMO CLOUD K. K. All Rights Reserved.